

よりよい伝え方について相手の立場に立って考える話し合い活動(作業学習)

キーワード：ICTを活用した情報発信 協働的な学び コミュニケーション能力

1 児童生徒の思い・教員の思い



〇〇まつりでたくさんのお客様に工芸班の製品(トートバッグ、ランチバッグなど)を買ってもらいたいです。そのために製品の良さを伝えたい。

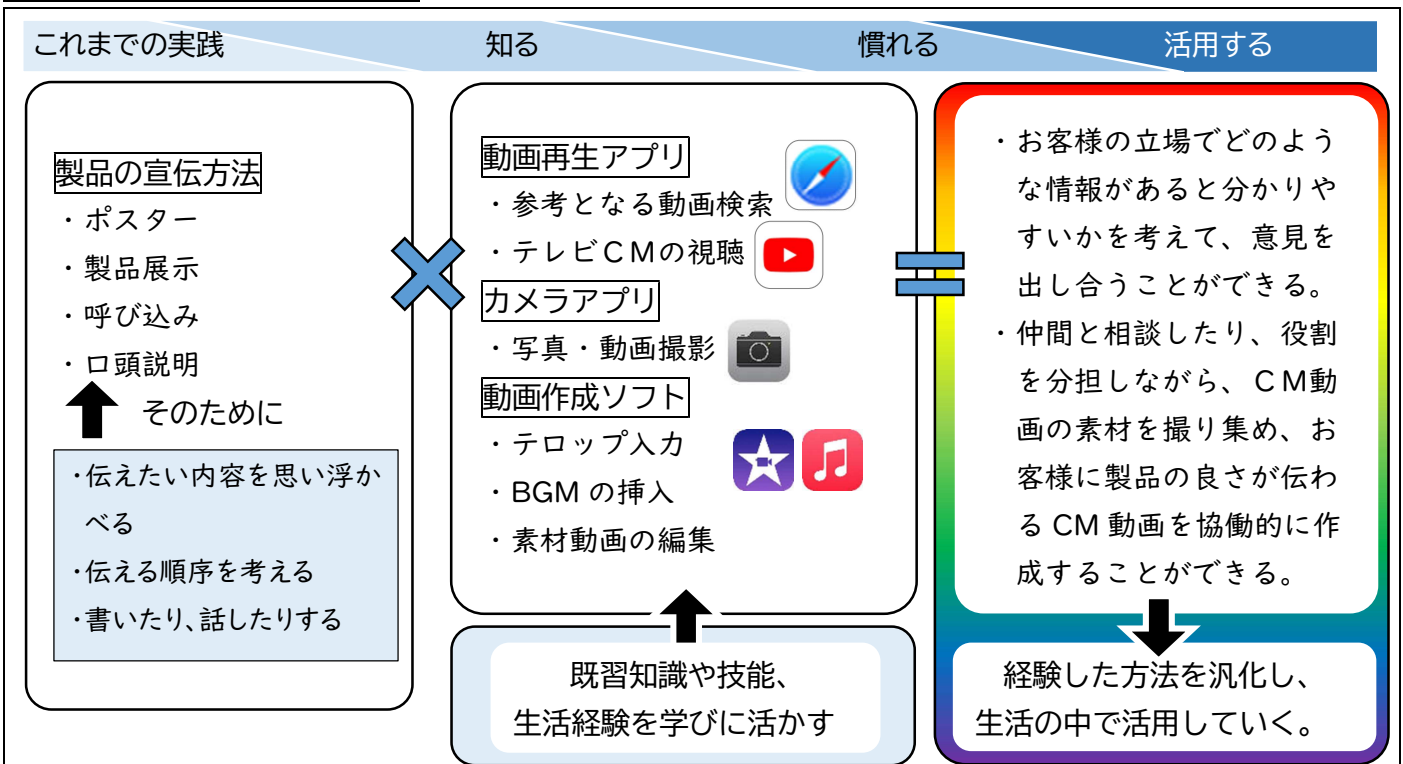


校外に向けた販売会を前に、よりたくさんのお客様に製品を届けたいという生徒たちの気持ちが高まってきています。その気持ちを叶えるために、製品の良さを分かりやすく伝える方法の一つとして端末を活用した動画作成を提案したいと思いました。動画作成の過程を通して、お客様の立場に立って分かりやすい情報とは何かを生徒同士で話合ったり、役割分担をして協働的に活動を進めたりするなど、生徒の主体性を引き出したいと思いました。

2 単元目標

- ・チェックシートを見たり、教師と一緒に作業のポイントを確認したりして、担当工程に取り組むことができる。(知識及び技能)
- ・製品や資材の進捗状況を見たり、ミーティングで教師や友達と相談したりして優先的に行う工程を決めることができる。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・動画の内容や流れなど効果的なアピール方法について、話し合ったり、選んだり、共有したりすることができる。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・担当する工程に集中して取り組むことができる。(学びに向かう力, 人間性等)
- ・ミーティングや話し合いの場で自分から発言したり、目を引くような動画やポスターの制作に自分から取り組むことができる。(学びに向かう力, 人間性等)

3 単元における生徒の学び (これまでの実践×ICT=資質・能力を育む新たな実践∞)



4 授業の様子

工芸班
CM動画
作成の流れ

新製品をどのようにアピールしたらよいだろう。

〇〇バーガーのポスターとコマーシャル動画を見比べてみよう。

「モチッ パリッ トロツ」がわかりやすい。

音があるといいなあ。

動画の方がおいしそう。

すごい。iPadで編集できるの。

先生たちが製品を紹介する動画を試しに作ってみたよ。

2種類のうち、どちらがお客様に伝わりやすいか、どのようなところが良いか、グループで話し合おう。

Aグループ 生徒主体の話し合い

作った人がわかるといいな。

BGMを入れたい。

作業工程の説明を入れたい。

Bグループ 必要に応じて教師が話し合いを支援

もう一度動画を観てみよう。

音や文字があるとわかりやすい。

いろいろな色があることを伝えたい。

話し合いの共有

効果音・製品の種類や用途・ナレーション・素材の良さの説明は入れよう！

テレビやYouTubeの視聴者としての生活経験を学びに活かしています。また、情報を受け取る側の立場になり、情報発信をする力を養うことができます。

役割分担

引っ張ってもやぶれない様子を撮影しよう！

その横で私がナレーションを入れるね。

私たちがモデルを担当するね！

製品を持って歩いたらどうかな？

製品名と値段を入れるとわかりやすいね。

他の作業班生徒（友達）

CM動画は見やすくって、わかりやすくってすごいな！

製品の良さが伝わるような動画構成について意見交換をしながら作成することで、自分の意見を分かりやすく伝えるなどの言語活用能力が高まります。また、完成した動画を見た他班の仲間からフィードバックをもらい、改良していくことで課題解決能力も身に付きます。

販売当日は売場の近くに大型モニターを置きCM動画を流しました。お客様に製品の良さを伝え、製品を買ってほしいという願いを叶えることができました。

①宣伝方法を検討

②動画の良さを知る

③必要な情報を検討する

④必要な情報をまとめる

⑤役割分担

⑥素材の撮影

⑦編集(テロップ、効果音等)

⑧視聴 改良

⑨学部で見合う会

⑩改良 完成

⑪まつり当日 (販売、CM放映)

5 授業を通して

〇〇まつりでは、生徒が「たくさんのお客様がCM動画を観て買いにきてくれた。」
「製品も完売できた。」と達成感や充実感を感じている姿が見られました。その経験が、次の学習や活動への意欲、他の学習場面でのICT機器の活用へとつながっていききました。その後も、学習成果や自分の考えを分かりやすく伝える方法の一つとして写真や動画、プレゼンテーション作成ソフトなどを活用しています。



1人1台端末の「知る」「慣れる」「活用する」を支える授業参考事例 ワークシート

1 この事例の児童・生徒の「夢」や「願い」は何でしょうか。



2 児童・生徒の「夢」や「願い」を実現するために、端末のどのような強みを生かしているでしょうか。

子どもたちの世界を広げる～ICTの強み～		
容易な 試行錯誤	小さな動きで 操作可能	直感的な 操作
多様で大量の 情報	過程の可視化	様々な場所で 利用可能
空間的制約を 超えた 双方向の情報共有	アクセシビリティ 機能の充実	オーダーメイド 支援の実現
ポイント ICTの強みを知る		

動画資料「端末活用のポイント」から

3 この事例を参考に、目の前の児童・生徒の「夢」や「願い」を実現するために、どのような実践をしたいと思いますか。



校内研修や学部・学年研修等で、御活用ください。